● 社会活動《クラブ CIA と クラブ EIA》

ＰＥＳが重視し大切にしている活動に社会活動がある。この活動は、設計やコンサルタントといった仕事とはまったく切り離し、社会との交流をめざした独自の活動として展開されてきた。ＰＥＳの活動をもっとも象徴し特徴づける活動といっても過言ではない。社会活動においても、その根幹にあるのはやはり環境という視点である。代表的な社会活動を概観する。

ＰＥＳの社会活動で最も歴史があるのは、主宰していたクラブＣＩＡ（Culture In Action 1977〜1992）及びクラブＥＩＡ（Environment In Action 1992-1997）の活動である。春日井市の事務所フロアを開放し、創立以来培ってきた人材ネットワークから講師を招き意見を交換していった。こうした活動は、事務所の創立後まもなくから描き暖めていた構想である。

1978年に開かれた記念すべき第1回のクラブＣＩＡは、森井修三氏（日新火災海上保険）を講師に迎え、損害保険の話をしていただいた。１９９１年までの１３年間に開催した講演会は、所員による講演を含めると４５回にもなる。１９９３年からは、活動をクラブＥＩＡとして引き継いだ。第1回は鈴木慶明氏（愛知県環境保全公社）が環境をテーマに講演、１９９８年までの5年間で計１５回開催している。

クラブＣＩＡとクラブＥＩＡは、冒頭でふれたように業務とは別の独自の活動として展開することは、クラブを主宰するに際して決めていたことだった。講演テーマを見るとわかるが、建築や設備の話題など、仕事の獲得を連想させるような話はない。たとえばＣＩＡでは海外の話題だったり、映画や音楽の話、お酒の楽しみ方、料理についてだったりと、バラエティに富むテーマを意識した。一方、ＥＩＡ活動は環境をテーマの中心に据えた講演会である。

２つの活動は、１９９８年をもって活動を停止し、２０年の歴史に幕を閉じた。ただしそれは活動の縮小・停止というネガティブなものではなく、発展的な解消である。1998年の日本グリーンビルディング協会設立の母体となり、その活動は継承されていくことになる。